

予 算 委 員 会

- 1 日 時 平成26年6月18日(水曜日)
午前9時28分～午前10時08分
- 2 場 所 委員会室
- 3 出席委員 高木法生 委員長 下井克己 副委員長
竹岡昌治 委員 徳並伍朗 委員
荒山光広 委員 西岡 晃 委員
河本芳久 委員 岩本明央 委員
山中佳子 委員 三好睦子 委員
萬代泰生 委員 馬屋原 眞一 委員
俵 薫 委員 坪井康男 委員
秋枝秀稔 委員 猶野智和 委員
秋山哲朗 議長 岡山 隆 副議長
- 4 欠席委員 村上健二 委員
- 5 出席した事務局職員
石田淳司 議会事務局長 大塚 享 議会事務局係長
野尻登志枝 議会事務局企画員
- 6 説明のため出席した者の職氏名
林 繁美 副市長 永富康文 教育長
波佐間 敏 総務部長 篠田洋司 市長統合戦略局長
大野義昭 総務部総務課長 白井栄次 総務部財政課長
井上孝志 市民福祉部長 杉原功一 市民福祉部次長
三浦洋介 市民福祉部次長 藤澤和昭 総合観光部長
佐伯憲一 総務部監理課長 細田清治 総務部税務課長
佐々木昭治 総合政策部企画政策課長 西山宏史 市民福祉部生活環境課長
岩崎賢治 市民福祉部健康増進課長 山田悦子 教育委員会事務局長
末岡竜夫 教育委員会事務局次長 西田良平 建設経済部農林課長

志賀雅彦	建設經濟部農林課長	河村充展	建設經濟部商工労働課長
千々松雅幸	教育委員会事務局教育総務課長	内藤賢治	教育委員会事務局生涯学習部一室推進課長

午前9時28分開会

○委員長（高木法生君） おはようございます。ただいまより、予算委員会を開会いたします。議長、報告事項等ございませんか。

○議長（秋山哲朗君） 特にごございません。

○委員長（高木法生君） それでは先の本会議におきまして、本委員会に付託されました、市長提出議案1件につきまして、審査いたしたいと思っておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。議案第1号、平成26年度美祢市一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、佐々木企画政策課長。

○総合政策部企画政策課長（佐々木昭治君） それでは、補正予算書の1-14、15ページをお開き願います。歳出から、御説明申し上げます。2款総務費・1項総務管理費・10目活性化対策費です。右ページの説明欄をご覧ください。004、定住支援事業ですが、新たに、Mineワクワク住マイル事業の創設に伴い、Mineワクワク住マイル事業補助金といたしまして、300万円を補正するものです。

この事業は、補助要件を満たした住宅取得者に対して、補助金を交付することにより、市外から本市への人口流入を促進するとともに、本市から市外への人口流出を抑制することにより、定住人口の増加を図ろうとする事業です。

補助金額は、市内の転入後、1年以内に住宅を取得した場合は100万円、又は住宅取得額の10分の1のどちらか低い額、また、市が定める対象地を購入して、住宅を新築した場合は30万円、美祢市内の業者に請け負わせて住宅を新築した場合は20万円、中学生以下の子がいる場合で、1人いる場合は20万円、2人いる場合は50万円、3人いる場合は150万円を、それぞれ交付するものとし、今年度は事業費総額を3,000万円と予定しております。なお、補助金は10年間で均等に交付することとしておりまして、初年度である今年度は300万円を予算計上するものです。

また、これに伴います債務負担行為の補正ですが、1の4ページをお開きください。第2表、債務負担行為ですが、追加として、Mineワクワク住マイル事業補助金としまして、事業費総額3,000万円のうち、平成27年度から平成35年度までの9年間で交付する額、2,700万円を債務負担の限度額とするものであ

ります。

説明は以上です。

○委員長（高木法生君） はい、三浦市民福祉部次長。

○市民福祉部次長（三浦洋介君） 続きまして、3款民生費・1項社会福祉費・1目社会福祉総務費、説明欄008臨時福祉給付金支給事業におきまして、277万円の増額補正であります。内訳といたしまして、12節役務費におきまして、通信運搬費を147万8千円増額計上しております。これは、当初、対象者と見込まれる方に申請書を送付することとしておりましたけれども、申請洩れを防ぐため、全世帯に申請書を配布することとしたためであります。

次に、節13委託料を220万円増額計上しております。これは、支給決定審査等に対応するためのシステム改修費が、当初見込みより増額したためであります。

また、節14使用料及び賃借料におきまして、機器借上料を90万8千円、減額計上しております。これは、システム改修に係る物品として、節13の委託料に含めたためでございます。

以上です。

○委員長（高木法生君） 岩崎岩崎健康増進課長。

○市民福祉部健康増進課長（岩崎賢治君） 続きまして、4款衛生費・1項保健衛生費・2目予防費でございます。説明欄は004番、がん検診推進事業でございます。488万——総トータルにおきまして、488万8千円を補正計上しております。

がん検診につきましては、厚生労働省が補助金を出しまして、21年度から、受診率が低い子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診について、検査費用の無料クーポン券の送付による受診勧奨を行っていましたが、この事業については、がん検診推進事業という、事業がありました。この事業は25年度まで実施され、子宮頸がん検診につきましては、前の年に20歳に達し40歳まで、それから、乳がん検診につきましては40歳から60歳まで、大腸がん検診につきましては、男女40歳から60歳。それぞれ5歳間隔で、住民登録されている人へ無料クーポンを配布して、受診を促しておりました。平成26年度から{原稿は「25年」}、がん検診推進事業は、子宮頸がん検診につきましては、20歳、乳がん検診につきましては40歳、大腸がん検診につきましては、40歳から5歳刻みまで、60歳の方を対象と

して継続されました。継続されましたが、今回、補正するのは、今年の4月から国が新たに推進する事業として、働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業として、改めて実施するものでございます。

この事業につきましては、平成25年度までに実施しておりました、無料クーポンの配布を実施しておりましたが、それに受診されなかった市民を対象に、特別に子宮頸がん検診、乳がん検診の無料クーポン券を再度配布して、未受診者の方への検診を促し、がんの早期発見に努めるためでございます。

今回の補正額は、受診勧奨に要する無料クーポン、印刷に伴う消耗品代。それから印刷代、それから勧奨のため、あるいは結果送付のための郵券料、検査委託料の総トータル488万8千円となります。

以上でございます。

○委員長（高木法生君） はい、西山生活環境課長。

○市民福祉部生活環境課長（西山宏史君） 続きまして、4款衛生費・2項清掃費・2目塵芥処理費のうち、カルストクリーンセンター管理運営事業に係る経費でございます。この度の補正予算では、7,722万3千円の増額補正を計上しております。

現在、美祢市の一般家庭や事業所から排出される可燃ごみにつきましては、すべて秋芳町岩永にある、カルストクリーンセンターに搬入しております。同センターでは、可燃ごみを粉碎、乾燥、固形化といった工程を経て、長さ10cm、正確に申し上げますと、33mm×33mm×100mmという棒状の固形燃料に生成し、それを発電装置の燃料として、宇部興産株式会社に出荷しておるところでございます。

この度の補正増は、ただ今申し上げました、カルストクリーンセンターで可燃ごみを棒状の燃料に生成する最後の工程、すなわち固形化を行うための装置、これを圧縮成形機と申しますが、この圧縮成形機を、圧縮梱包機に買い替えるための費用とその関連経費でございます。圧縮梱包機と申しますのは、粉碎、乾燥させたごみを小さな固形に押し固める装置ではなく、一辺1mの立方体の形状でラッピング、すなわちフィルムでくるむ装置のことでございます。平成25年1月より、生活環境課で調査してまいりました結果、圧縮成形機を圧縮梱包機に更新したほうが修繕料や電気代といった装置の運転経費が削減できること、固形燃料の納入先である宇部

興産株式会社からも圧縮梱包機導入の要望があったこと等により、圧縮梱包機導入に必要な経費を、この度の予算要求書に計上したところでございます。補正予算の説明資料に基づき、項目別に御説明いたします。まず、消耗品費として158万4千円、これは粉碎、乾燥させたごみを包むフィルムの代金でございます。次の光熱水費の74万1千円の減額は、平成26年12月から新装置の試運転と、既存装置の稼働停止を想定した場合の電気代の節減額でございます。同様に、修繕料の67万8千円の減額も、平成26年12月以降の4カ月についての削減額でございます。次に、施設整備工事7,414万2千円は、装置の購入費と設置費用でございます。次に、機械器具291万6千円は粉碎、乾燥の工程を終え、立方体の形状にした可燃ごみをトラックに積み込むためのフォークリフトの購入費用でございます。

以上となっております。

○委員長（高木法生君） はい、河村商工労働課長。

○建設経済部商工労働課長（河村充展君） 続きまして、5款労働費・1項労働諸費・4目勤労者福祉施設費でございます。説明欄001、勤労者福祉施設管理運営事業のうち、指定管理委託料を313万7千円減額補正するものでございます。これは、当初予算において、市の積算額であります、2,471万5千円を予算計上しておりましたが、当該施設の指定管理者との年度協定書において、平成26年度の指定管理料を2,157万7,320円としたため、この差額である313万7千円を減額するものであります。

以上です。

○委員長（高木法生君） はい、志賀農林課長。

○建設経済部農林課長（志賀雅彦君） 続きまして、6款農林費・1項農業費・3目農業振興費におきまして、141万1千円の増額補正を計上しております。説明欄の033、農地中間管理事業につきましては、農地中間管理事業の推進に関する法律により、農地を貸したいという農家から、農地の有効利用を図る受け手への農用地の集積・集約化を進めるため、農地の中間的な受け皿となる山口県農地中間管理機構が本年3月に、やまぐち農林振興公社内に設立をされました。これに伴いまして、山口県農地中間管理機構から、農地中間管理権の取得、中間管理権を取得した農地の貸し付け等に関する業務を受託するための経費を計上しております。内訳に

つきましては、雇用保険料1万2千円、臨時職員賃金82万7千円、消耗品40万円、燃料費7万2千円、通信運搬費5万円、機器借上料5万円であります。なお、財源につきましては、100%が山口県農地中間管理機構からの委託料となっております。

○委員長（高木法生君） はい、河村商工労働課長。

○建設経済部商工労働課長（河村充展君） 続きまして、1-18、19ページをお願いいたします。7款商工費・1項商工費・2目商工振興費でございます。説明欄001、商工業活性化事業のうち、商品券発行事業補助金として、2,436万1千円を増額補正するものでございます。

この度の補正は、4月の消費税増税に伴い、一旦、駆け込み需要があったものの、その反動により、4月以降、市内消費の落ち込みが激しく、打開策の一つとして、期間限定のプレミアム商品券を発行することにより、市内消費を誘発し、経済の活性化を図ろうとするものでございます。事業の実施主体でございます、美祢市商工会に対して、補助金を交付するための増額補正ということになっております。

以上です。

○委員長（高木法生君） はい、千々松教育総務課長。

○教育委員会事務局教育総務課長（千々松雅幸君） 続きまして、10款教育費・3項中学校費・2目教育振興費、説明欄001、中学校情報化施設整備事業につきまして、備品購入費210万9千円を増額補正するものであります。これは、美東中学校の新1年生を、当初予算では40人、2学級と見込んでおりましたが、実際の生徒数は35人で1学級の編成となったことにより、不足します教育用パソコン、9台を追加購入するものであります。

以上です。

○委員長（高木法生君） はい、内藤生涯学習スポーツ推進課長。

○教育委員会事務局生涯学習スポーツ推進課長（内藤賢治君） 続きまして、10款教育費・5項社会教育費・1目社会教育総務費であります。説明欄001、人権教育推進事業についてであります。これは、文部科学省の委託事業として、学び合い、関わり合い、高め合いながら自他を尊重する人権教育の推進を研究のテーマとして、人権教育総合推進地域事業に取り組むこととなったもので、事業内容といたしまして、人権教育講師謝礼、人権研修に係る旅費、消耗品、通信運搬費等、合計

80万円を計上しております。

次に、010、生涯学習施策企画等事業であります。これは、今議会において条例の制定を議案として提案しております、鳳鳴地域交流センターの指定管理者、候補者選定審査会開催のために必要な委員の報償金として、3万円を計上しております。

次に、024 世界スカウトジャンボリー地域プログラムモデル事業であります。これは、来年開催される世界スカウトジャンボリーの地域モデル事業として、美祢市、山口市、光市、下関市の4市が取り組むこととなったもので、参加者記念品代、講師謝礼、消耗品、スカウトジャンボリー啓発用物品印刷代等、合計34万6千円を計上しております。なお、美祢市は8月4日に八代ぬくもりの里で交流事業を実施することとしています。

以上です。

○委員長（高木法生君） はい、三浦市民福祉部次長。

○市民福祉部次長（三浦洋介君） 次に、歳入の御説明をさせていただきます。補正予算書の1-10、1-11ページをお開き願います。14款国庫支出金・2項国庫補助金・2目民生費国庫補助金であります。節1、社会福祉費補助金。説明欄、臨時福祉給付金支給事業補助金といたしまして、277万円増額計上しております。これは、歳出で御説明いたしました、臨時福祉給付金支給事業に対応する国庫補助金分であり、補助率は、10分の10の全額補助であります。

以上です。

○委員長（高木法生君） はい、岩崎健康増進課長。

○市民福祉部健康増進課長（岩崎賢治君） 続きまして、同じページの3目衛生費国庫補助金・1節保健衛生費補助金です。歳出で御説明しましたが、働く世代の女性支援のための検診推進事業の事業額に対します国庫補助金として、59万4千円を増額補正するものでございます。

以上でございます。

○委員長（高木法生君） 内藤生涯学習スポーツ推進課長。

○教育委員会事務局生涯学習スポーツ推進課長（内藤賢治君） 続きまして、15款県支出金・2項県補助金・9目教育費県補助金でございます。これは、世界スカウトジャンボリー地域プログラムモデル事業に係る補助金といたしまして、17万2

千円を計上しております。補助率は1／2でございます。

続きまして、同じく3項委託金・6目教育費委託金でございます。これは、人権教育総合推進地域事業に係る委託金といたしまして、80万円を計上しております。これは、全額国庫、国費でございます。

以上でございます。

○委員長（高木法生君） はい、白井財政課長。

○総務部財政課長（白井栄次君） 続きまして、18款繰入金・1項基金繰入金・1目ゆたかなまちづくり基金繰入金につきまして、1億805万4千円を増額いたしております。これは、諸事業を実施するに当たり、特定財源を伴わない単独事業等に係る財源といたして、計上いたしましたものでございます。

以上でございます。

○委員長（高木法生君） はい、志賀農林課長。

○建設経済部農林課長（志賀雅彦君） 続きまして、1-12、13ページをお開きください。20款諸収入・5項雑入・3目雑入につきまして、141万1千円の増額補正を計上しております。これは、説明欄に記載のとおり、先程歳出で申しあげました農地中間管理事業に伴う臨時職員の雇用保険料、本人負担分4千円と山口県農地中間管理機構の委託金140万7千円です。

以上をもちまして、議案第1号平成26年度美祢市一般会計補正予算（第1号）の御説明を終わらせていただきます。

○委員長（高木法生君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。はい、竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） まずですね、15ページ。衛生費の中で、清掃費。ちょっと西山課長にちょっとお尋ねをしたいんですが、三点ほど、お尋ねをしたいと思えます。

まず、最初の一点はですね、このカルストクリーンセンターが建設後、何年経過したか。当時ですね、議会側でこれを焼却——ゴミを焼却をする。いわゆる灰にしてしまうと。それから、固形燃料化ということで、勉強会やったんですよね。まあ、その結果、固形燃料化にしようということで、今日に至ったわけでありまして。しかしながらですね、当初はペレット状にゴミをするのに圧縮機が、だいたい人差し指の大きさぐらいのペレット状を作っておったわけですから、非常に目詰まり起

こしたり、故障したりですね、大変に御苦労なさったと聞いております。その後、確か太新工業さんですか。特に地元に住られる中嶋輝元さんらが中心になって御努力されて、圧縮成形機をさらにこう、大きくされたと聞いております。しかしながら、今回ですね、それをはずして、やりかえると。まあ特に、興産からの要望もあったと。こういうことですが、まず1点目はこの施設がどのくらい経っているのかということと、2点目はですね、先ほどもちょっと申し上げましたが、修理が最近どういう頻度でおきているのか。でないと、機械を本当に改廃していいのかどうかというのも、判断があらうと思います。ただ、興産の希望だけという訳にはいかないと思いますが、まあその辺をちょっともう少し説明をしていただきたい。

それから3点目がですね、ゴミというものは、クリーンセンターはですね、中間処理、ゴミの中間処理施設だと認識しております。で、行政が一番大切なのは、最終処分なんですね。これをどういうふうに埋め立てるかっていう、最終処分が一番難しい問題でありまして、とりあえず固形燃料にして興産に燃料として売ろうと、こういうことなんです。多分ですね、宇部興産さんはその後、いろんなところから搬入をされておると思うんですね。よその自治体の状況、そして、それが無料なのか有料なのか、美祢市は有料と聞いておりますが、有料で販売しないとゴミの最終処分ということになるんで、固形燃料ということになると有料だろうと思うんです。まあそうした形の中で、興産が受け入れている他市の状況もですね、わかる範囲で結構でございます。もう少し、詳しく御説明をいただければというふうに思います。

以上です。

○委員長（高木法生君） はい、西山生活環境課長。

○市民福祉部生活環境課長（西山宏史君） ただいまの竹岡委員の御質問でございます。まず、1点目のですね、現在のカルストクリーンセンターが建設後、何年経っておるかという御質問でございます。現在の施設は、1市2町の合併前の平成11年4月から、施設全体は稼働しております。当時は、美祢地区衛生組合ということで、1市2町で、一部事務組合を構成しておりました。当時が21億3千万円で、21億3千万の施設整備費がかかったと、いうふうに聞いております。それと今回、補正計上させてもらっております、圧縮梱包機に替えようとしているのです

が、もうこれ以上は使い続けられないと思っている方の機械、圧縮成形機でございます。こちらにつきましては導入後、いろんなカスタマイズに対する苦勞を経て、現行の機械は、平成15年7月からですね、使い始めておるようです。ですから、今年度で11年、約11年使っておるところでございます。

それから、2点目の、修理の頻度でございます。1回の修理で——オーバーホールと申しまして、1日2日完全にストップして機械を全面的に点検し、そして、その必要な部品の取り替えるということをやりますが、大体平均的にですね、150万、1回のオーバーホールと呼んでおりますが、オーバーホール1回につき150万から180万かかっております。で、実は平成26年度につきましては、そのオーバーホール3回分540万ですか。当初予算に盛り込んでおるんですが、今年度につきましては、この6月において早くも3回分のオーバーホールを消化しておるということで、今までちょっとかなり、ごまかしごまかし使ってきておったんですが、もう限界が来ているという状況でございます。

それから3番目の、取引の相手方の宇部興産株式会社さんのことでございます。私どもが持ち込んだ固形燃料でございますが、発電用の、燃料炉に投入されます。で、とりあえずは、発電用のエネルギーとして活用されているという状況でございます。で、焼け残った灰が出ます。その灰についてはですね、あのセメント焼成される、大きな釜、キルンですね、キルンに投入されると。セメントの、その原材料になっておるという状況でございます。それで、大ざっぱにしか聞いておりませんが、宇部興産の方ではですね、現在そういう資源再生エネルギーの事業というのは、全社的に力をいれておられるということで、美祢市だけではなくてですね、複数の自治体とそういった取引をもっていらっしゃるようです。で、有料でという御質問があったんですが、あの、美祢市から、その固形燃料を搬入させていただいていることに対して、今は、お金は払っていません。というか、逆にですね、お金をいただいております。ただ、宇部興産さんはですね、企業活動でやっておられますね、ちょっと他の自治体のことについてはですね、なかなか申し上げづらい側面がございます。

以上でございます。

○委員長（高木法生君） はい。竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） はい、ありがとうございました。まあ、今お聞きしますとで

すね。圧縮成形機、もう今年度になって3回ということになると、当初予算を組んでた分も、修理費はみんな使ったという形になろうと思うんですね。もう限界だということですが、梱包にして、興産はその方がいいと。それから、希望がそうとおっしゃったんですが、その方が修理がしやすいというならば、我々も成形をやって、非常に圧縮をやって、そして、それに対する機械の損耗がひどいということになれば、願ったりかなったりだなとは思いますが、どの程度の今後耐用年数をお考えなのか。というのが、今までの機械がですね、結局11年しかもたなかったと、こういうことなんで、今度は梱包のほうですから、圧縮梱包機ですから、逆に言えば、そんだけ損耗はひどくないとは思いますが、修理費も当然安くなる、電気もなくなると。少なくなると。こういう試算をされておられるようですが、そのへんを再度、お答え願いたいと思います。

○委員長（高木法生君） はい、井上市民福祉部長。

○市民福祉部長（井上孝志君） ただいまの委員の御質問ですが、実は先ほど課長申しましたように、平成15年から機械を替えたんですけども、それは中古を導入をしております。今までの小さいペレットから、もうちょっと大きな3センチのペレットで運用していたんですが、やはり、かなり圧縮の段階で、故障とかですね、起こっております、——というのが現状です。宇部興産さんもペレットでやっているんですが、実際にはこれをさらに分解して、実際燃料として投入されておるといのが現状です。それと、バラで今まで運送してますので、置き場がですね、困るんですね。外に置くわけにはいかない。濡れると困るわけですから。それと場所的な問題も含めてですね。実は、去年の1月からずっと研究をお互い重ねてきたんですが、興産としては、先ほど課長説明しました1メートル四方の形で充分だと。これでやれますよと。で、今現在、よその自治体や業者から運ばれているのもそれが、ほとんどそういう形でございます。先般、広島にあるサニックスさんが今、非常に全国展開をされております。そこへ視察にいきました。で、そこは平成15年から稼働をされております。で、しかも24時間稼働です、そこは。うちは昼間だけの稼働ですが。それでほとんど修理とか、時々点検は当然必要ですけども、そういうふうなものはしていないということで、実証をされております。ですからこれでいきますと、先ほど言いました燃料費も、当然、圧縮するための電気代が非常にかかっておりましたし、修繕も非常にかかったということが、いろいろな面で

改善をされると。だから、今から最低限15年はもつと思っています。あの、この新しい機械に替えたらずね。それと現状で、だましましやる。あるいは、新しい圧縮、今の状態の圧縮の新しいのを入れたと仮定をした15年間で、1億3,000万円余りの運用の差が出てくるという今の試算のもとで、今回の補正で上げるのはどうかという話もあったんですけど、早く導入した方が、より経費が削減ができるという判断のもとに、今回上げさせていただきました。

以上です。

○委員長（高木法生君） はい、他にございませんか。はい、三好委員。

○委員（三好睦子君） 数点お尋ねいたします。19ページですけど、商工費の中で商品券発行ですが、これは中小企業の業者の方の支援で、いいと思いますが、今回もプレミアム付きなのでしょうか。それと今回の発行枚数は、以前と同じ枚数なのでしょうか。この予算は何枚なのかお尋ねいたします。

○委員長（高木法生君） はい、河村商工労働課長。

○建設経済部商工労働課長（河村充展君） ただいまの御質問でございます。説明の際も申しましたが、プレミアム付きの商品券ということで、このたび発行させていただきます。枚数でございますが、セット数を2万セット。1セット1万円で販売し、プレミアム分、1,000円分を加えた1万1,000円をお渡しするというかたちものを今、考えております。したがって、総額で2億2,000万円の商品券を発行するという予定にしております。

以上です。

○委員長（高木法生君） はい、三好委員。

○委員（三好睦子君） これは、商工会についてということでしたが、美祢市内の中小業者の方は皆、商工会に入っているのでしょうか。どうかわかりましたらお願いします。

○委員長（高木法生君） はい、河村商工労働課長。

○建設経済部商工労働課長（河村充展君） ただいまの御質問でございます。全ての業者の方が商工会に加入しているというわけではございません。ちょっと、数がどれくらいかというところまでは、今正確な数字を持っておりませんが、全ての方が入ってらっしゃらないということは、間違いのないことです。

以上です。

○委員長（高木法生君） はい、三好委員。

○委員（三好睦子君） わかりました。ありがとうございます。商工会に入っておられない方たちの対応も、この消費税が上がったの対応で中小業者の方の支援っていうことですから、考えていただきたいと思います。

そして、次の件ですが、同じく19ページですけど、人権教育推進事業として、26年度当初予算では36万2,000円ですが、今回は80万円の追加補正がされています。追加が悪いと言ってる意味ではありませんが、この80万追加で116万になるわけですが、どのような事業展開をされるのかお尋ねします。

○委員長（高木法生君） はい、内藤生涯学習スポーツ推進課長。

○教育委員会事務局生涯学習スポーツ推進課長（内藤賢治君） ただいまの御質問にお答えいたします。このたびの内容につきましては、教職員の人権研修にかかる研修でありますとか、講演等にかかるものが主な内容となっております。

以上でございます。

○委員長（高木法生君） よろしいですか。はい、ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（高木法生君） はい、質疑なしと認め質疑を終わります。それでは、本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（高木法生君） それでは、これより議案第1号平成26年度美祢市一般会計補正予算（第1号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（高木法生君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本会議で本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたしました。その他委員の皆さんから何かございましたら御発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（高木法生君） ないようでしたら、これにて本委員会を閉会いたします。御審査、御協力誠にありがとうございました。

午前10時08分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成26年6月18日

予算委員長 高木法生